

モニタリング調査が
地域の人々とできる
“理由”
わ・け

NPO法人 里山自然学校はずみの里



岩手県一関市花泉町

岩手県の最南端の町
隣の宮城県とは川が県境
県都、盛岡から約100km
仙台からも約100km



NPO法人 里山自然学校はずみの里

1. 青少年健全育成事業

- ①放課後学童保育
- ②地区の子供教室



2. 環境調査事業

3. 自然体験・環境学習事業

- ①川の水質調べ
- ②森の学校
- ③キノコの植菌

今年で10年目を迎えたNPO法人です



モニ1000調査地の樺の沢



樺の沢は典型的な里地・里やまです

樺の沢の調査項目



植物相



鳥類



水環境



中・大型哺乳類

カヤネズミを
除く8項目
です



カエル類



チョウ類



ホタル類



人為的インパクト

「樺の沢集落」と「はすみの里」の関係

樺の沢地区で中山間直接支払制度を活用するに
於いて、制度の申請要件に

自然生態系の保全に関する他機関との連携が
求められていたため

当法人との間で自然生態系の保全回復に関する
連携についての協定書を平成18年7月に交わした

樺の沢集落の特徴

特徴1

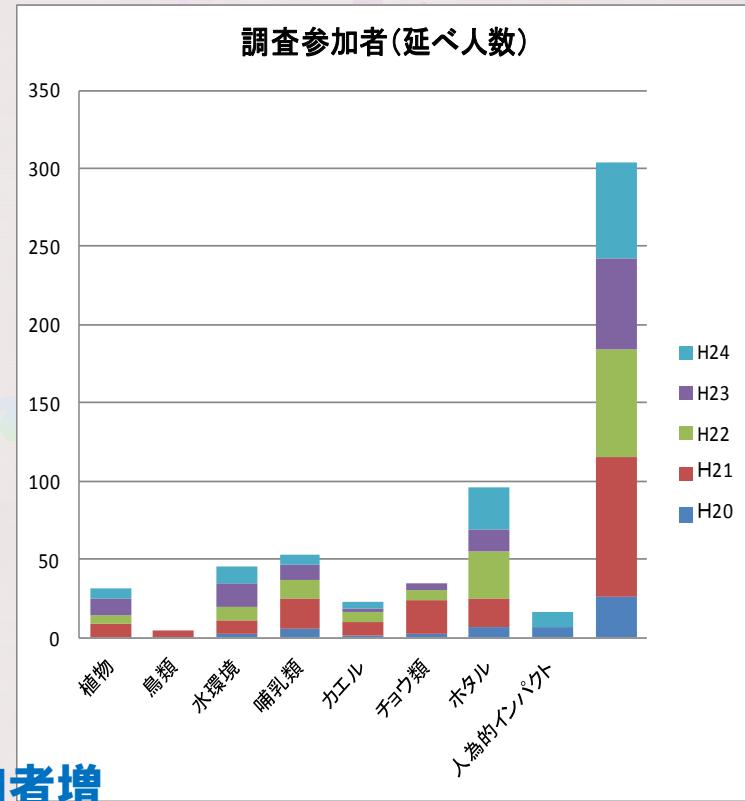
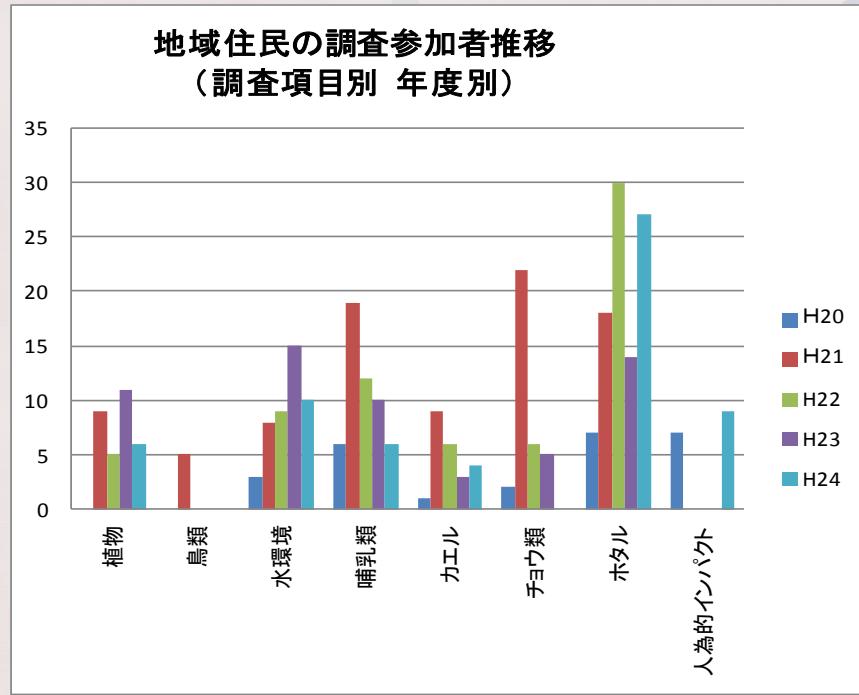
中山間直接支払制度適用に係る
樺の沢水系集落との協定が存在
したこと(中山間の組織が有りまとまり易い)

特徴2

多様な考えの人がいるけれども理解し興味を
持つて協力してもらえる人がいる

(住んでいる地域にホタルが生息している事や、用水として
利用している水環境などの自然環境に興味がある)

これまでの調査への参加状況



- ・開始2年目のH21年は興味と義務感で参加者増
- ・鳥とチョウは不人気
- ・ここ2~3年の年間の参加延べ人数は50~65人程度
- その半数はホタルの調査

樺の沢での展開(初期)

コーデネイター（NPO法人 はずみの里）



樺の沢水系集落住民

コーデネイターとしての役割(その1)

コーデネイター（NPO法人 はずみの里）



3年目以降

中山間の事務局

工夫や提案①



調査項目の分担

工夫や提案 ①

- ・地域が協力できる調査項目の選定
- ・調査時期に幅を持たせる
- ・参加の無理強いをしない
- ・調査協力に対する適切な評価（参加人数の把握）
- ・水環境、ホタル、カエルの調査主管の移行の検討

樺の沢水系集落住民

コーデネイターとしての役割(その2)

コーデネイター（NPO法人 はずみの里）

3年目以降

中山間の事務局

工夫や提案②

興味

責任感

達成感

調査項目の分担

工夫や提案 ②

- ・調査協力に対する適切な評価(参加者の把握)
- ・調査協力に対する適切な対価の提供
- ・調査結果を年度末に報告する機会を持つ
- ・一部の調査項目の完全移管を試行

樺の沢水系集落住民

コーデネイターとしての役割(その3)

コーデネイター（NPO法人 はずみの里）



3年目以降

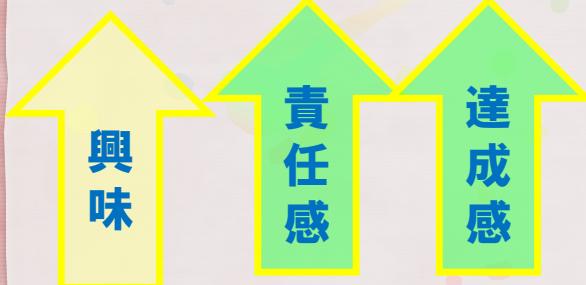
中山間の事務局

ホタル、カエル、水環境の調査主管の移行

工夫

- ・適切な評価(参加者の把握)
- ・適切な対価の提供
- ・年度末に調査結果の報告
- ・水環境調査の完全移管

調査項目の分担



樺の沢水系集落住民

樺の沢での展開(最近)

コーデネイター（NPO法人 はずみの里）

水環境の調査主管
の完全移行

中山間の事務局

連携の強化

興味

責任感

達成感

調査項目の分担

連携

- ・調査に係る質問や疑問に常に
対応する
(具体的にはホタルと水の関係、
地域版植物図鑑の監修など)
- ・お互いに尊重し合い信頼関係
を損なわない

樺の沢水系集落住民

- ・総合感冒薬は無い
- ・基礎体力を養うこと

最近の調査の様子

- ・地元メディアも同行しての植物(木本)調査の様子

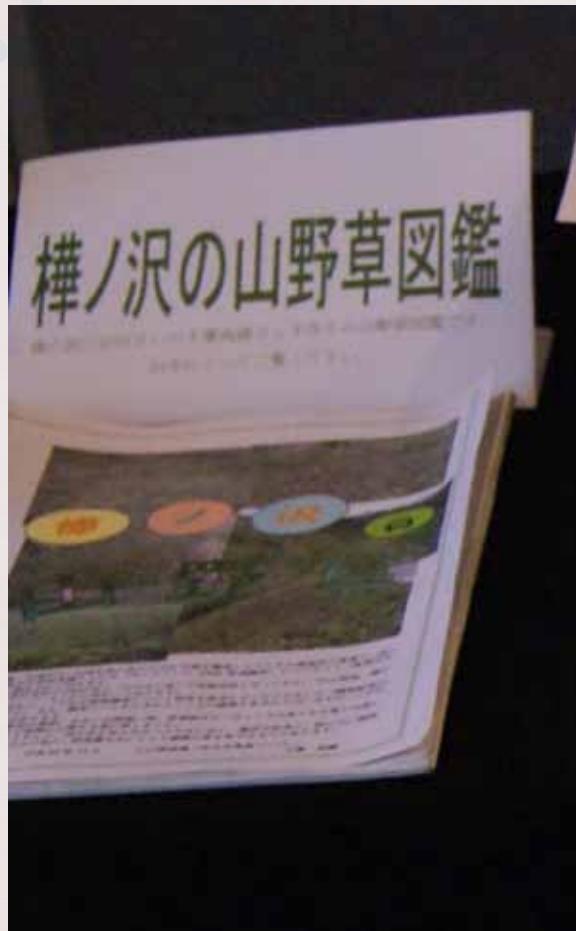


- ・人為的インパクト調査
植生図作成(色区分)
の様子



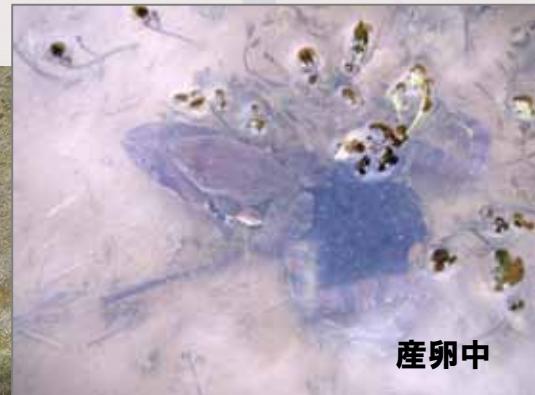
- ・同時進行で昼食の準備
・調査完了後の会食風景

意 識 の 変 化



- ・地域版の植物図鑑を作ってしまった
(集落公民館に寄贈、最近第2版を執筆)
- ・水環境調査の完全移行が行えた
(田んぼに使う用水に関心が高くなった)
- ・調査よって生き物に気づき大切に守る
意識のめばえ
(はじめは中山間直接支払の義務と感じていた)

波 及 効 果(その1)



自然観察指導員(ネットワーク岩手)の研修会場として活用される



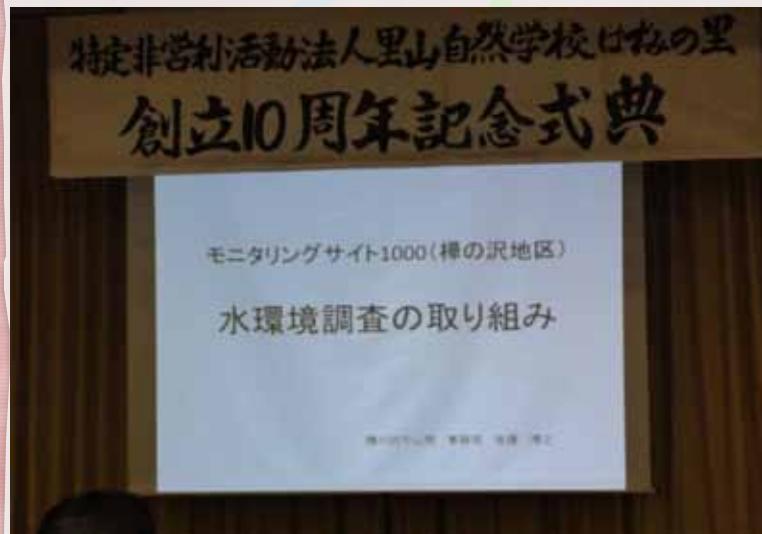
波及効果(その2)



水環境について発表する 後藤さん



植物図鑑について発表する 高繼さん



当法人の10周年記念事業に於いて
モニ1000調査に関する地域の人々が
その発表を引き受けてくれた

調査項目と位置関係



望ましい 位置関係



課題

・興味や関心のある人の総合力を引き出すこと(調査日に都合を合わせる事の難しさ)



無理強いしないこと

・次世代の構成員が少ない
(三世代で構成する家族が少ない)



とりあえず待つ

ありがとうございました

